

千年の森便り No.111

2012.12.12

ちば千年の森をつくる会

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

12月2日(日) 晴 参加は伊藤・鶴沢・刈米・坂本(文) 中田夫妻と子供たち・根本・真鍋・福島・山口の15名。この冬一番の冷え込みのなか、関東一遅い紅葉に染まった豊英島で、ニホンジカ調査、野鳥の巣箱づくり、巣箱掛けなど、寒さを忘れて楽しみました。(真鍋記)



○ニホンジカ生息状況調査

12月の定例活動日は、ニホンジカの生息状況調査からスタートしました。橋の手前で全員が集合して、調査方法の確認と調査ルートの方担を行い、橋を渡って10時10分に調査開始。7コースに分かれ約40分で島内をくまなく歩き回りました。調査の結果、ニホンジカの発見はなし。痕跡として新しいフンが1箇所で見つかりましたが、ほかは足跡らしきもの、角トギあとと思われるものが各1箇所にあっただけで、全体的にみると痕跡が少ないという印象でした。

今年は3月、6月、9月、12月の4回調査を行い、シカが確認されたのは3月の♀2頭だけでした。(福島)

○野鳥記録 初記録の野鳥が2種!

シカの調査と並行して全員に野鳥も見てもらいました。その結果、初記録の2種が加わりました。当日の確認種数は17種 累計では48種になりました。

初記録① **ウソ** スズメより少し大きい冬の鳥です。今年は渡来数が多いのか各地で観察されて野鳥愛好家を喜ばせています。変な名前ですが、フィフィと口笛の様な声で鳴くので口笛の古語の「うそ」が名前の由来です。



ウソ(西印旛沼にて坂本)

初記録② **オオバン** ハト位の大きさで全身が黒く額と嘴だけが白い水鳥です。手賀沼や印旛沼、東京湾で普通に見られますが、山奥の豊英湖まで進出してきたのは驚きです。同日、所用で立ち寄った三島湖でも3羽確認しています。地元の船宿の話では10年ほど前から見られるようになったそうです。(坂本文雄記)



オオバン(印旛沼にて坂本)

---左に掲載のウソとオオバンの画像は豊英島撮影ではない参考画像です。

○植物調査

巨木林のクロヤツシロランを複数株採取し、12月5日県中央博物館大野科長に同定をお願いした結果「クロヤツシロランかアキザキヤツシロランのいずれかに間違いはないが、いずれの種かは花を見なければ判断できない」とのことでした。従って09年10月以降「千年の森便り」記事および「豊英島の自然」15頁と41頁に記載の「クロヤツシロラン」は、全て「クロヤツシロラン又はアキザキヤツシロラン」と読み替え下さい。来年こそ花を見つけ、種を特定出来るよう期待します。花探しの難しい植物ですが秋の花探しにご協力下さい。(真鍋記)

○巣箱づくり・巣箱掛け

豊英島での営巣が期待できるシジュウカラ、オシドリ、キセキレイ、フクロウなどの来春の利用を想定して、それぞれにあわせた構造の巣箱を13個作製し、うち3つを実際に掛けました。今回は根本会員に、準備、段取りですっかりお世話になり、既にキット化されていたことから、中田一家の子供達もそれぞれに参加できて賑やかな巣箱作りとなりました。

実際にやってみると、墨付け、斜め切り、穴開け、面取り、木口へのねじ止めなどそれなりに難しかったものの、いろいろ教えてもらいなんとか時間内に一人1個は完成することが出来ました。



根本さんの準備は万端(福島)



中田一家も全員参加で(伊藤)



巣箱取り付け(中田)

なお、広場の近くの林にシジュウカラ用、ほてい岬の湖面近くにキセキレイ用など、3つを実際に設置しました。設置に際しては、利用頻度が高いと言われる直立した木を選び、高さ、入口の向きなど慎重に検討しました。

これまで、巣箱については多少色眼鏡で見えていましたが、今回、巣箱づくり、巣箱掛けもなかなか奥が深いと実感しました。次回、残りの巣箱をどこに掛けるか、根本さん自作の「うろのある自然木を使ったフクロウ用巣箱」をどこに置くか、興味がつきないところです。

なお、発案者の村野さん(都合により欠席)に敬意を表して、一から作製することが出来るように、2つ分の材料を板のまま残してありますので、次回お楽しみください。(伊藤記)

「鳥の巣箱づくり」

千葉市立打瀬小5年 中田 夏実

今回参加して私が一番楽しかったのは、巣箱づくりでした。巣箱は始めから組み立ててあるのもあったし、自分たちで作るものもありました。作るのは私も手伝わせてもらいました。沢山つくりたかったけど、結構難しくて結局私は1つしか作れませんでした。その巣箱に来年の春、鳥が入ってくればいいな、と思いました。弟や妹は少し大きな巣箱を作りました。それは、オシドリ用の巣箱になると聞いて面白いなと思いました。始めから組み立ててある巣箱でフクロウ(アオバズク?)用ののが本当にすごいな、と思いました。木のうろの穴をくりぬき、底と上に板を貼りつけて作った巣箱でした。フクロウ(アオバズク?)は、私はまだ見たことがないので是非入ってほしいな、と思いました。

お知らせ

○1月の定例活動日 1月21日(日) 9時30分県民の森駐車場集合。巨木林生長量調査、ホダ場・植生保護柵の管理、植物調査、野鳥調査などを行います。また11月から取り掛かったホテイ岬の森林整備の継続を行います。作業のできる服装・ヘルメットなどを持参。

○「関東地区森づくり活動コーディネーター養成ブロック研修」1月25日~1月27日、サンライズ九十九里。森づくり・里山活動の実践に有益な研修です。関心のある方は伊藤事務局長にお問合せ下さい。

○2月・3月の活動予定

2月17日(日)にコナラを数本伐採し、3月17日(日)にシイタケ、ヒラタケ2種類の駒打ちをします。同時に、2月は照度調査、3月はヒメコマツ調査、ニホンジカ調査なども行います。予定表に記載を。